

事例番号:360176

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第五部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

経産婦

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 40 週 6 日

14:00 予定日超過、分娩誘発目的で入院

4) 分娩経過

妊娠 41 週 0 日

7:02- オキシトシン注射液投与開始

9:20 陣痛開始

11:42 頃- 胎児心拍数陣痛図で胎児心拍数 70-100 拍/分の徐脈あり

11:58 経膈分娩

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:41 週 0 日

(2) 出生時体重: 2800g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.23、BE -11.0mmol/L

(4) Apgar スコア:生後 1 分 6 点、生後 5 分 7 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(バック・マスク)

(6) 診断等:

出生当日 生後 40 分の血液ガス分析で pH 6.81、BE -20.9mmol/L、貧血、播種性血管内凝固症候群

(7) 頭部画像所見:

生後 48 日 頭部 MRI で基底核信号異常を認め低酸素性虚血性脳症の所見

6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分:診療所

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 1 名

看護スタッフ:助産師 2 名、看護師 2 名、准看護師 1 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、分娩経過中に生じた胎児低酸素状態およびそれに引き続く出生後の呼吸循環不全による低酸素・酸血症によって低酸素性虚血性脳症を発症したことであると考えられる。

(2) 胎児低酸素状態の原因を解明することは困難であるが、臍帯血流障害の可能性を否定できない。

(3) 胎児は分娩第 1 期の終わり頃から低酸素の状態となり、その状態が出生時まで持続し、低酸素状態で分娩に至ったと考える。

3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)

1) 妊娠経過

(1) 妊娠中の管理は一般的である。

(2) 妊娠 25 週 6 日に子宮頸管長短縮のため入院としたこと、および入院中の管理は、いずれも一般的である。

(3) 妊娠 41 週 0 日に予定日超過のため分娩誘発としたこと、および分娩誘発に際し、文書を用いて説明し同意を得たことは、いずれも一般的である。

2) 分娩経過

(1) オキシトシン注射液の投与方法 (5%ブドウ糖液 49.5mL にオキシトシン注射液 2.5 単位を溶解し 0.6mL/時間で開始、約 30 分後に 1.2mL/時間に増量、その後 30 分以上経過後 2.4mL/時間ずつ 12mL/時間まで増量) およびオキシトシン注射液投与中に分娩監視装置を連続装着したことは、いずれも一般的である。

(2) 妊娠 41 週 0 日 11 時 40 分の破膜後、胎児心拍数下降ありと判断した際の対

応(医師へ報告、体位変換、オキシリン注射液投与中止)は一般的である。

(3) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。

(4) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

(1) 新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸)は一般的である。

(2) 生後 40 分で頻脈が増悪している状況で、血液ガス分析を実施したことは適確であるが、血液ガス分析値 (pH 6.816、PCO₂ 107mmHg、PO₂ 37.4mmHg、HCO₃⁻ 9.0mmol/L、BE -20.9mmol/L) で酸血症が認められる状況で、静脈確保を行い、生後約 1 時間に血液ガス分析を再検し新生児搬送としたことは一般的ではない。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

新生児搬送基準の策定、または見直しを行うことが望まれる。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

分娩誘発に関する説明書・同意書は適切に保管することが望まれる。

【解説】 本事例は、分娩誘発に関する説明書・同意書を紛失したとされている。「保険医療機関及び保険医療養担当規則」では、保険医療機関等は、医療および特定療養費に係る療養の取り扱いに関する帳簿及び書類その他の記録をその完結の日から 3 年間保存しなければならない。ただし、患者の診療録にあっては、その完結の日から 5 年間とするとされている。分娩誘発に関する説明書・同意書は、診療録として適切に保存することが望まれる。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

なし。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。